

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
150010	X-01-A-1-150010						
授業科目	担当教員						
日本語 4	佐々木 香織	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
				授業目的			

日本語 2 に引き続き、レポートや論文をきちんと書けるようになることを目指す。アカデミックな文章を書く技術を高めるほか、ディスカッションやプレゼンテーションの力を伸ばすことを目指す。(日本語が母語でない学生が対象) 国際社会で必要な知識を身に付ける。

#### 各回の授業内容

第 1 回	【授】 レベルチェックテスト 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。今まで習ったことを思い出しておくこと。レベルチェックテストは、すぐ採点して返すので、間違いを直しておくこと。	第 9 回	【授】 論説文の要約 2 (論説に対する自分の意見をまとめる) 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。自分の意見を書き終わらなかった人は、書いておくこと。
第 2 回	【授】 作文を書く。(テーマは学生の興味に合わせて決める) 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第 10 回	【授】 小テスト 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第 3 回	【授】 誤用分析 1 ; 同じ間違いを繰り返さないように、なぜまちがうのか、どうしたら防げるのかを考える。前回書いた作文自分で直してみる。 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第 11 回	【授】 各自で課題を決めて、学術論文の形式にそって論文を書く 1 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。書きたいテーマを考えておいて、「はじめに」を書けるように準備すること。
第 4 回	【授】 作文を書く。(テーマは学生の興味に合わせて決める) 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第 12 回	【授】 各自で課題を決めて、学術論文の形式にそって論文を書く 2 章立てについて考える 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第 5 回	【授】 誤用分析 2 ; 前回書いた作文を、お互いに添削し、どう直したらよりよくなるか、提案しあう。 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第 13 回	【授】 各自で課題を決めて、学術論文の形式にそって論文を書く 3 引用や要約引用のしかたを練習する。 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第 6 回	【授】 あらすじのまとめ方 1 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。事前にわからない言葉の意味を調べておく。	第 14 回	【授】 各自で課題を決めて、学術論文の形式にそって論文を書く 4 形式を整えて完成させる 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。終わらなかった人は家で終わらせ、発表できるようにしておく。
第 7 回	【授】 あらすじのまとめ方 2 ; お互いにあらすじを読みあって、いい点を参考にする。 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。自分の書いたあらすじを推敲して清書してください。	第 15 回	【授】 論文の発表 : お互いに自分の論文を紹介しあい、アドバイスする。 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。友達のアドバイスを考慮にいれて、論文を見直しておく。
第 8 回	【授】 論説文の要約 1 (日本語 3 で使うものを使う予定) 【前・後】 1 時間程度で、約文が終わらなかった人は、家で書いておくこと。	第 16 回	【授】 期末レポート提出 【前・後】 予習復習に 4 時間程度必要。書しておくこと。

#### 成績評価方法

評価の目安 : 定期試験 30%、授業内レポート 30%、授業態度 20%、成果発表 20%

レポートは添削後、テストは採点後返却し、解説します。

#### 教科書・参考書

特になし (参加学生と相談して決めます。)

#### 受講に当たっての留意事項

授業に参加するだけでなく、事前に予習が必要です。たくさん書いたり読んだり話したりします。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	国際交流基金シドニー日本文化センターでの教員研修や講座運営などの経験を活かした日本語指導	○

#### 学習到達目標

学生のレベルが同じでない場合もあるので、各自で立てた目標に向けて、できるだけの支援をします。いずれのレベルでも受講前よりも高い日本語運用力をつけることを目指します。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習